

# ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第23号 2012年1月発行

リタイアメント情報センター「りらいぶジャーナル」ニュース・レター発行を記念して、インドネシア・ロンボク島およびギリ・メノのカサブランカ・ホテルをあらためて簡単にご紹介させていただきます。

インドネシア・ロンボク島の説明は、以下のウィキペディアの通りですが、ロンボク島は隣のバリ島と少し異なり、まだまだ自然が多い南の楽園です。静かな海や雄大な山がお好きな方々には、きっと満足していただけると思います。インドネシア政府も観光開発にさらに力を入れ、第二のバリを目指しています。

(以下、「ロンボク島」フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』より)

ロンボク島(Pulau Lombok)は、インドネシア中部の小スンダ列島に属し、バリ島の東隣にある島である。人口約270万人、行政区画は西ヌサ・トゥンガラ州。

## 【地理】

ロンボク島の北部にはリンジャニ山(3726m)がそびえ、南麓には広いサバンナが展開している。牧畜が盛んで、米、藍、コーヒーを産出する。西半分にはバリ人が多く移住し、歴史的にその属領であったロンボク島の東半部にはムスリムであるササク人が居住する。バリ島との間のロンボク海峡は生物分布上のウォーレス線が通っている。

## 【行政区画】

マタラム - 西ヌサ・トゥンガラ州の州都。・西ロンボク県・中部ロンボク県・東ロンボク県

## 【観光】

島の西部にセンギギビーチ(Senggigi)がある。また北西部沖にギリ・アイランド(Gili Islands)と呼ばれる3つの小島(ギリ・トラワンガン、ギリ・メノ、ギリ・イル)がある。ギリ(Gili)とはササク語で「小島」を意味するので、ギリ・アイランドという呼称は厳密には間違いである。南部にあるタンジュアンビーチはインドネシアのベストビーチに選ばれたこともある。ビーチの近くにある集落のクタ(Kuta)には数軒のホテルがあり、サーフィンを目的に滞在するサーファーも多い。

## 【交通】

バリ島のパダンバイから、ロンボク島のレンバルヘフェリーが就航している。またギリ各島へはバンサル港(Bangsal Harbor)からボートが出ている。空路はロンボク国際空港がある。



---

インドネシア・ロンボク島のご紹介は以上ですが、この中の【観光】に書かれている3つの小島の中心に位置するギリ・メノに、皆様にご紹介したいカサブランカ(Casablanca Hotel & Restaurant)があります。

場所はギリ・メノの船着き場から歩いて3、4分の白い砂浜から50m程度中に入った所に位置しています。

カサブランカは初代オーナー(河野久翁氏)の思い入れのホテルで、いろいろな花がいっぱいに咲いている楽園です。一度お訪ねしていただければ、きっと満足していただけると思います。

また交通ですが、現在バリ島から3つの小島(ギリ・トラワンガン、ギリ・メノ、ギリ・イル)へ高速船が毎日3、4便運航しており、非常に便利となっております。

詳しくはカサブランカ・ホームページ <http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> のアクセス・ページをご覧ください。

# ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>



ロンボク島地図。北西にギリ 3 島がある

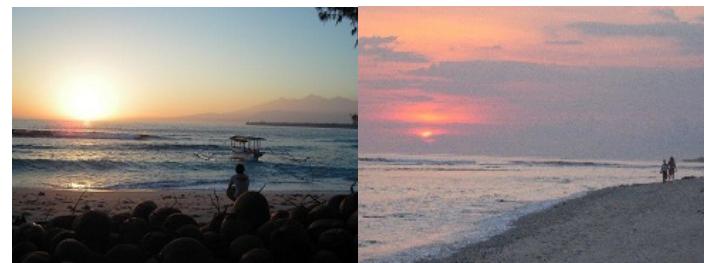


ギリ・メノ全景

 Indonesia Casablanca を是非お訪ねください。  
<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>



カサブランカ・ホテル風景



ギリ・メノのサンライズ & サンセット

ギリ・メノのある地域は熱帯なので、日中は確かに暑いのですが、朝夕は涼しい緩やかな海風も吹き、散歩やジョギングには最適です。徒歩で一周してもわずか 1 時間半程度で回れる大きさの小島です。島の周りはサンゴ礁も多く、透き通った美しい海が広がっています。静かな美しい海に巡り合いたい方は、ギリ・メノをご訪問ください。

★マリーン・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca のお問い合わせは、 [shimaint@r4.dion.ne.jp](mailto:shimaint@r4.dion.ne.jp) ^